

ソーシャルワーク演習Ⅱ（現代福祉学科）

評価項目	A(20～25点)	B(18～19点)	C(15～17点)	D(1つでも該当すると不合格)
具体的な事例等(集団に対する事例含む)の検討を通して、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得する(D)。	教員の助言を参考に、具体的な事例等(集団に対する事例含む)の検討を通して、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができる。	教員の指導の下、具体的な事例等(集団に対する事例含む)の検討を通して、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができる。	教員の手厚い指導の下、具体的な事例等(集団に対する事例含む)の検討を通して、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができる。	具体的な事例等(集団に対する事例含む)の検討を通して、支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対する総合的かつ包括的な支援について実践的に習得することができない。
事例等を題材として、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導により社会福祉士のロールモデルを形成する(D)。	教員の助言を参考に、事例等を題材として、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導により社会福祉士のロールモデルを形成することができる。	教員の指導の下、事例等を題材として、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導により社会福祉士のロールモデルを形成することができる。	教員の手厚い指導の下、事例等を題材として、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導により社会福祉士のロールモデルを形成することができる。	事例等を題材として、具体的なソーシャルワークの場面及び過程を想定した実技指導により社会福祉士のロールモデルを形成することができない。
地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を通して、地域を基盤とした社会福祉士の実践を仮想化する(D)。	教員の助言を参考に、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を通して、地域を基盤とした社会福祉士の実践を仮想化することができる。	教員の指導の下、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を通して、地域を基盤とした社会福祉士の実践を仮想化することができる。	教員の手厚い指導の下、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を通して、地域を基盤とした社会福祉士の実践を仮想化することができる。	地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を通して、地域を基盤とした社会福祉士の実践を仮想化することができない。

※評価は、評価項目についてそれぞれ「A:20～25点」「B:18～19点」「C:15～17点」とし、「D」は1つでも該当した場合は不合格となる。

※評価項目内の(D)は、ディプロマポリシーと対応する項目を指す。